	2019年度	建学の精神	婦人の中に未来の人は眠れり			
学校評価		校訓	典雅 荘重(強く 正しく 美しく)			
左右	計画	教育目標	未来を拓く女性の育成	元年度結果 割合・  自己   関係者		果 関係者
領域	目 標	評価項目	達 成 目 標	割合• 件数	評価	評価
	I 正しい生活習慣を身につけさせ常識をわきまえた品位ある生徒を育てる	(1)規則やマナーを守る自律的な態度を育てる	①1年間の校則違反の件数	19件	А	
			②【教員の判断】制服の正しい着方に対する生徒の意識が高い	100.0%	А	
			③【生徒の判断】制服を正しく着ることができる	99.8%	<u>A</u>	
			【保護者の判断】正しい身だしなみの指導が十分	95.5%	$\rightarrow$	
		(2)校内美化に努める	①【教員の判断】姉妹掃除に自ら進んで取り組む	69.0%	<u>D</u>	
			②【生徒の判断】姉妹掃除に自ら進んで取り組む	96.8%	A	100% A
		(3)時間厳守に努める	①【教員の判断】全校朝礼などの集合時間を守れる ②【生徒の判断】全校朝礼などの集合時間を守れる	100.0% 96.2%	A A	
		(4)規律ある集団行動	①【生徒の判断】部活動に積極的に参加する	95.1%	A	A
		ができる態度を養う	①【教員の判断】挨拶ができる	47.6%	D	-
		(5)適正な言葉遣いと きちんとした挨拶の徹 底を図る	②【生徒の判断】挨拶ができる	90.3%	A	
生			③【教員の判断】正しい言葉遣いができる	83.3%	В	
徒			④【生徒の判断】正しい言葉遣いができる	93.3%	A	
指導			【保護者の判断】挨拶や言葉遣いの指導が十分	89.1%		
		(6)欠席遅刻の減少	①1カ年皆勤の生徒の割合	42.1%	С	1
	Ⅲ 安全教育を 充実させる	(1)生徒の防犯意識 及び安全対応能力の 向上を図る	①1年間の自転車事故件数	4件	А	
			②【生徒の判断】交通ルール・マナーを守る	97.8%	А	
			【保護者の判断】交通安全指導が十分	85.5%		
			③【1年生】不審者への対処法を理解している	94.1%	А	
		(2)災害等への適切	①【教員の判断】校内の防災訓練に真剣に取り組む	100.0%	А	100%
		(2) 火害等への適切 な対応に関する訓練 の充実を図る	②【生徒の判断】校内の防災訓練に真剣に取り組む	91.9%	А	А
			③【1~5年】地域防災訓練の参加率	96.9%	_A_	
		(3)薬物乱用・喫煙・ 飲酒等の身体的影響 に関する指導の充実 を図る	【保護者の判断】防災教育が十分	87.4%	$\rightarrow$	
			①【生徒の判断】講演会が参考になった	96.9%	А	
	Ⅲ 自主的 自 律的態度を育て る	(1)クラスの一員として 各種行事やホーム ルーム活動に積極的 に取り組む態度を養う	①【生徒の判断】パフォーマンス大会学園祭に積極的に取り組む	99.2%	А	91.7% A
			②【生徒の判断】役員や当番の任務を責任をもって果たす	94.7%	А	
ームルー			③【生徒の判断】ホームルーム活動に積極的に取り組む	97.2%	А	
			【保護者の判断】行事やクラス活動への取り組みの指導が十分	93.0%		
		(2)いじめのない、安 心して生活できるクラ スを作る	①【生徒の判断】いじめがなく、安心して生活できるクラスを作る	94.3%	А	
			②【生徒の判断】担任との信頼関係を構築する	87.2%	В	
		(3)他人の意見を傾聴する態度と自己表現能力の育成を図る (4)グローバルシチズンシップを涵養する	①【生徒の判断】講堂朝会や学年集会での話をしっかり聴く	88.5%	В	
			②【生徒の判断】さまざまな場面で積極的に自己表現をする	90.0%	А	
			【保護者の判断】話を聴き、表現する指導は十分	90.8%	<u> </u>	
ム経			③【生徒の判断】姉妹活動を通し、他学年との交流を深める	84.5%	В	
営			④【生徒の判断】学校行事を通じ海外の文化、生活、言語に対する興味を持つ	88.6%	В	
			⑤【生徒の判断】将来留学したい(含短期留学)と思う	55.8%	В	
	IV 保護者との 連携の強化を図 る	(1)学年PTAや学級 懇談会の内容・回数の 適正化を図る	①【保護者の判断】授業参観会、学級懇談会は有意義な会である	89.9%	В	100%
		(2)学年、学級通信を 発行し学校生活の様 子を伝える	①【保護者の判断】学年、学級通信等が学校理解につながる	92.2%	А	А
		(1)個に応じたきめ細 かな指導を行う	①【中学生】チャレンジ講座が実力向上に役立つ	100.0%	А	
			②【教員の判断】土曜講習・夏期講習を実力強化につなげる	88.9%	В	
			③【高校生】土曜講習・夏期講習が実力強化につながる	99.6%	Α	
		(2)進路に対し広い視	④【中学生】進路入寮・職業調べ等通じて、進路に対する関心が高まる	90.5%	А	91.7%
教科指導		野と高い志を育成する	⑤【高校生】進路講演会等で進路に対しての考えを深める	99.3%	<u>A</u>	А
		(3)家庭学習の習慣を付ける指導を工夫する	【保護者の判断】将来につながる進路指導が十分	76.2%		
			①【中学生】自学力アップのためのJタイムにしっかり取り組む	95.3%	A	
			②【教員の判断】個人面談等を活用し、個別学習指導をする	76.5%	$\stackrel{\mathrm{C}}{=}$	
	VI 魅力と特色 のある授業を行う	ŀ	【保護者の判断】自ら学習する姿勢が身についたと感じられる ①【教員の判断】公開授業月間を自己研鑽に役立てる	74.9% 84.6%	$\overline{}$ B	
			①【教員の判断】公開授業月間を自己研鑚に依立てる ②【生徒の判断】協同学習に意欲的に参加する	91.1%	A	
			②【教員の判断】「大学入試問題研究」を指導力向上につなげる	89.3%	B	100%
			【保護者の判断】教員が授業改善に取り組む姿勢が十分	69.2%	<u> </u>	A
			【保護者の判断】学力の向上に資する授業が行われていると感じられる	62.8%	$\overline{}$	7.1
		(2)授業の学習環境、	①【生徒の判断】学習四原則を意識して授業に臨む	97.2%	A	
		雰囲気を整える	②【教員の判断】ICT機器を効果的に活用した授業が行われている	43.2%	D	